

3 R・資源循環推進フォーラム 令和6年度事業報告

令和6年度は、令和6年3月の理事会及び総会の議を経て、これまで3 R活動を推進してきた「3 R活動推進フォーラム」を、4月に「3 R・資源循環推進フォーラム」と名称を改め、新たなスタートを切った。

新たなフォーラムでは、市民や事業者の皆様、行政、研究機関が一体となったプラットフォーム機能を強化して、これまで以上に、環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省をはじめとする関係府省や、会員の皆様との連携を強化し、幅広いステークホルダーが情報共有、相互連携できることを目指して取り組むこととした。

これにより、引き続き、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラスチック資源循環促進法）」や「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）」など廃棄物・3 Rに関する概要の説明や情報提供、先進事例発表等を行うためのセミナーや研修会を、環境省など関係府省、都道府県、会員等との連携により実施し、業界を超えたステークホルダーと共同で循環型社会構築への取組を行った。

また、循環経済への移行を関係者が一丸となって取り組むべき重要な政策課題と捉え、循環型社会形成に向けた政府全体の政策を取りまとめた国家戦略とされる「第五次循環型社会形成推進基本計画」（令和6年8月）の情報提供などに努めた。

I 組織運営

1. 理事会・総会

(1) 令和6年度理事会・総会

日 時：令和6年6月17日（月） 15:00 ～ 17:00

開催場所：A P虎ノ門11階 A会議室

（会場及びWEBによるハイブリット開催）

【議題】

第1号議案 令和5年度事業報告（案）及び収支決算（案）

第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算（案）

第3号議案 理事及び監事の選任（案）

第4号議案 会長、副会長及び専任理事の選任（案）

第5号議案 顧問の選任（案）

第6号議案 3 R・資源循環推進フォーラムのロゴマークの作成について

□新フォーラム発足に伴うロゴマークの更新

「3 R活動推進フォーラム」から「3 R・資源循環推進フォーラム」への組織変更に伴い、会員、理事、監事、顧問及び企画・運営委員による投票を行い、会長が決定した。



2. 企画・運営委員会

(1) 令和6年度第1回企画・運営委員会

日 時：令和6年7月31日（水）10:30～12:00

開催場所：公益財団法人廃棄物・3R研究財団 8階大会議室
（会場及びWEBによるハイブリッド開催）

【議題】

第1号議案 ホームページを通したプラットフォーム機能拡充について（案）

第2号議案 3R・資源循環先進事例研究発表会の開催について（案）

報告事項1 3R・資源循環推進フォーラムのロゴマークの作成に係る投票結果について

報告事項2 第18回R3R推進全国大会の開催について

報告事項3 3R・資源循環推進フォーラム事業展開に関するアンケートの結果について

(2) 令和6年度第2回企画・運営委員会

日 時：令和7年3月26日（水）10:30～11:30

開催場所：公益財団法人廃棄物・3R研究財団 8階大会議室
（会場及びWEBによるハイブリッド開催）

【議題】

第1号議案 令和6年度事業報告（案）

第2号議案 令和7年度事業計画（案）

第3号議案 令和7年度収支予算（案）

Ⅱ 会員の状況

1. 取組

- ①環境省主催の全国廃棄物・リサイクル行政主管課長会議（令和6年6月26日（水）開催）の資料に3R・資源循環推進フォーラムの紹介・入会案内を掲載していただいた。
- ②未加入団体等に入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、地方自治体を訪問するなどして入会をお願いした。

2. 入会状況

今年度は、新たに宮城県仙台市（令和6年4月）及び神奈川県座間市（令和7年2月）に加入いただいた。この結果、会員の入会状況は、81自治体会員と66民間団体で合計で147団体となっている（令和7年3月末日現在）。

Ⅲ 令和6年度事業概要

1. 3R推進全国大会及び関連事業

(1) 第18回3R推進全国大会（令和6年度3R推進企画運営業務）

環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、及び3R・資源循環推進フォーラムの主催による「第18回3R推進全国大会」は、10月24日（木）、埼玉県で開催した。

第Ⅰ部の「大会式典」では、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰、及び3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰を行った。

第Ⅱ部の「記念シンポジウム」では、「サーキュラーエコノミーによる地域活性化と質の高い暮らしの実現に向けて ～目指すべき循環型社会の将来像～」をテーマに、今後の3R・資源循環の推進方策に関する理解を深めるため、基調講演、特別講演及び事例報告並びにパネルディスカッションを行った。

関連イベントとして、イグナイトステージ（参加者交流のための特設ステージ）、幅広い関係者による3R・循環型社会形成の取組を紹介する展示コーナー、施設見学会を実施した。

また、大会終了後（令和6年11月5日～令和7年2月28日）に、第18回3R推進全国大会の紹介ページ（3R・資源循環推進フォーラムホームページ）からYouTubeでアーカイブ配信を行った。

【開催概要】

- ・開催日時：令和6年10月24日（木） 13:00～17:00
- ・開催会場：さいたま市プラザノース ホール
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目852番地1
- ・開催団体：環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、3R・資源循環推進フォーラム
- ・参加者： 455人（現地参加者 333名 / ライブ配信申込者 122名）

（プログラム）

ア 第Ⅰ部「大会式典」 13:00～14:00

(7) 主催者挨拶

- 国定勇人環境大臣政務官
- 大野元裕埼玉県知事
- 崎田裕子3R・資源循環推進フォーラム副会長

(4) 来賓挨拶

- 松澤正埼玉県議会副議長

(ウ) 表彰式

- 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰
- 3R促進ポスターコンクール最優秀賞表彰

(エ) 記念撮影

イ 第Ⅱ部「記念シンポジウム」 14:00～17:00

「サーキュラーエコノミーによる地域活性化と質の高い暮らしの実現に向けて
～目指すべき循環型社会の将来像～」

(7) 基調講演

「サーキュラーエコノミーの達成に向けた各主体の役割」

- 東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授、慶應義塾大学名誉教授、中部大学名誉教授
（3R・資源循環推進フォーラム会長） 細田 衛士 氏

(イ) 特別講演

「埼玉県が目指すサーキュラーエコノミー ～持続的な発展に向けた環境と経済の両立～」

○埼玉県知事 大野 元裕 氏

(ウ) 事例報告

「浦和レッズSDGsサーキュラーエコノミーの取り組み」

浦和レッドダイヤモンズ株式会社 コーポレート 本部スタジアム運営担当 早川 拓海 氏

(エ) パネルディスカッション

「地域におけるサーキュラーエコノミーの推進と実践 ～持続可能な未来への道筋～」

【コーディネーター】

3 R・資源循環推進フォーラム副会長、ジャーナリスト、環境カウンセラー、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会会長 崎田 裕子 氏

【パネリスト】

○大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 環境ビジネス推進部 部長 西村 知子 氏

○株式会社木下フレンド 代表取締役社長 木下 公次 氏

○株式会社ECOMMIT 取締役CSO 坂野 晶 氏

○国立環境研究所資源循環社会システム研究室長 田崎 智宏 氏

◇関連イベント

ア 3 R推進展示コーナー 10月24日(木) 12:00～18:30

さいたま市プラザノース ホール入り口に、令和6年度3 R促進ポスターコンクールで各部門の最優秀賞を受賞した4作品の展示のほか、2階多目的ルームに、3 R推進展示コーナーを設け、循環型社会形成に関連する先進的な取組の展示コーナーには39団体が出展し、取組などを紹介した。

【循環型社会形成に関連する先進的な取組の展示コーナー出展者】(順不同)

○環境省、○埼玉県、○3 R・資源循環推進フォーラム/公益財団法人廃棄物・3 R研究財団、○リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、○NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット、○3 R推進団体連絡会、○ガラスびん3 R促進協議会、○PETボトルリサイクル推進協議会、○紙製容器包装リサイクル推進協議会、○プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、○スチール缶リサイクル協会 ○アルミ缶リサイクル協会、○飲料用紙容器リサイクル協議会、○段ボールリサイクル協議会、○公益財団法人埼玉県産業振興公社、○公益財団法人東京都環境公社 ○ウム・ヴェルト株式会社、○株式会社木下フレンド、○三郷市、○大日本印刷株式会社、○株式会社ECOMMIT、○一般社団法人全国容器循環協議会、○公益社団法人食品容器環境美化協会、○株式会社パイロットコーポレーション、○アミアズ株式会社/一般社団法人withal、○クリエイトラボ、○天城屋株式会社、○明治安田生命保険相互会社埼玉本部、○株式会社ティービーエム、○ケイワート・サイエンス株式会社、○オリックス資源循環株式会社、○新和環境株式会社、○日榮新化株式会社、○株式会社ショーモン、○東武商事株式会社、○株式会社吉川油脂、○久保井塗装株式会社、○新井資材株式会社

イ イグナイトステージ(参加者交流会における特設ステージ) 10月24日(木) 17:15～18:30

3 R推進展示コーナーに連動し、今大会に参加いただいた皆様の交流の一層の促進を目指し、同会場で「イグナイトステージ」を開催した。

全国大会第2部終了後、同ステージにて、企業、団体の取組を発表いただき、3 R推進展示コーナーを訪れた大会参加者に熱意ある発表をご覧いただくとともに、参加者相互の交流、ビジネスマッチングの一助とすることができた。

○司 会 環境カウンセラー 関根 久仁子 氏

○発表者

1 挨拶

サーキュラーエコノミー推進センター埼玉 公益財団法人埼玉県産業振興公社新産業振興部部长 柳沢 禎人 氏

2 「東京サーキュラーエコノミー推進センターの概要・主な取組の紹介」

公益財団法人東京都環境公社環境共生部 東京サーキュラーエコノミー推進センター普及推進チーム 野末 裕子 氏

3 「再生素材を活用したデザインソリューション」

株式会社DNPエスピーイノベーション SP新規事業開発本部事業開発部部长 村上 浩 氏

4 「排水油脂&油泥から生み出すブラウングリースのアップサイクル」

株式会社ティービーエム執行役員事業企画部長 東 誠悟 氏

5 「アダプト・プログラム普及推進について」

公益社団法人食品容器環境美化協会事務局長 佐藤 克彦 氏

6 「生ごみ処理機による持続可能な社会構築」

天城屋株式会社代表取締役 石井 靖彦 氏

ウ 施設見学会 10月25日(金) 9:00~12:35

本大会の関連イベントとして、大会翌日の10月25日(金)午前中に施設見学会を行った。午前9時に熊谷駅をバス2台で出発し、2グループ(Aコース、Bコース)に分かれて埼玉県大里郡寄居町所在の、公共関与による全国初めての総合的「資源循環型モデル施設」である「彩の国資源循環工場」内にある民間リサイクル施設を視察した。参加者は合わせて45名だった。

■Aグループ

①オリックス資源循環株式会社(寄居バイオガスプラント) 寄居町西ノ入3050-23
廃棄物系バイオマスによる国内最大規模の乾式メタン発酵バイオガス発電施設を見学

②ツネイシカムテックス株式会社(埼玉工場) 寄居町大字三ヶ山250-1
焼却灰の焼成処理による無害化と人工砂へのリサイクルを行う施設を見学

■Bグループ

①株式会社エコ計画(寄居エコスペース) 寄居町三ヶ山262
24品目に及ぶ廃棄物を受け入れ、再利用率95%を目指す総合リサイクル施設を見学

②株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン(寄居工場) 寄居町大字三ヶ山330-1
廃蛍光管や県内初の廃太陽光パネル等のリサイクル施設を見学

(2) 3R促進ポスターコンクール(令和6年度3R推進企画運営業務)

環境省と共催で、循環型社会の実現に向けて、毎年「3R促進ポスターコンクール」を実施しているもので、令和6年度は以下のとおり実施した。

公募は、小学生低学年、小学生中学年、小学生高学年、中学生の部の4部門で行われ、令和6年度3R促進ポスターコンクールには、全国から合計4,630点の応募があった。

審査の結果、各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点が選定された

なお、表彰式は第18回3R推進全国大会式典で、各部門の最優秀賞受賞者に対して行われた。

【応募数】

小学生低学年の部(小学校1~2年生)	523点
小学校中学年の部(小学校3~4年生)	1,493点
小学校高学年の部(小学校5~6年生)	1,465点
中学生の部	1,149点
(合計)	4,630点

①募集期間

令和6年5月29日（水）～9月11日（水）

②応募作品到着

令和6年8月下旬～9月11日（水）

③1次審査会（廃棄物・3R研究財団 8階大会議室）

令和6年9月19日（木）

④2次審査会（台東区民会館8階 第2会議室）

令和6年9月25日（水）

(3) 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰（令和6年度3R推進企画運營業務）

循環型社会形成推進功労者を表彰する制度は、廃棄物の発生量の抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の適切な推進に顕著な功績があった個人、企業、団体を表彰し、その功績をたたえとともに、循環型社会の形成の推進に資することを目的に、毎年環境省が実施しているもので、令和6年度は合計4件（6社）が受賞した。

なお、表彰式は第18回3R推進全国大会式典の席で行われた。

【表彰者】

・3R活動優良企業 4件（6社）

①ウム・ヴェルト株式会社（推薦者：埼玉県）

②株式会社新菱（推薦者：福岡県）

③株式会社キューヘン（推薦者：福岡県）

④北九州環境プラントサービス株式会社、豊田環境サービス株式会社、株式会社エコクリエイト大阪（推薦者：3R・資源循環推進フォーラム）

(4) 環境省主催地方セミナー（令和6年度3R推進企画運營業務）

3Rの一層の推進をするため、都道府県等地方公共団体、事業者団体、NPO/NGO等と連携して全国地方都市において、共催先となる自治体との協議の上、3R推進地方セミナーを2か所で開催して広く普及啓発を行った。

① 令和6年度 環境省主催3R推進地方セミナー（兵庫県）

「兵庫県における水平リサイクルの最新の取組」

・開催日時：令和6年12月20日（金）13：30～16：40

・開催会場：兵庫県立兵庫津ミュージアム 研修室

・開催主体：環境省、兵庫県、3R・資源循環推進フォーラム

・参加者：175名（会場42名、オンライン133名）

<基調講演>

○「第五次循環型社会形成推進基本計画 ～循環経済を国家戦略に～」

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室 室長補佐 大井 泰人 氏

<事例発表>

(1) 「KOBE からはじまるプラスチックの未来「まわり続けるリサイクル」」

神戸市環境局資源循環課長 井関 和人 氏

(2) 「FIGP のボトル to ボトル」

遠東石塚グリーンペット株式会社 営業本部原料調達部 部長 青木 聡 氏

(3) 「エフピコモデルの資源循環型リサイクル トレーtoトレー&ボトルto透明容器」

株式会社エフピコ サステナビリティ推進室ジェネラルマネージャー 富樫 英治 氏

(4) 「みんな参加型の循環型社会！ーリサイクルは世界平和ー」

株式会社 JEPLAN 取締役執行役員会長 岩元 美智彦 氏

② 令和6年度 環境省主催 3R推進地方セミナー（福島県）

「福島県における3R・資源循環に向けた最近の動向について」

- ・開催日時：令和7年1月31日（金）13:10～17:00
- ・開催会場：福島県庁 講堂
- ・開催主体：環境省、福島県、3R・資源循環推進フォーラム
- ・参加者：104名（会場40名、オンライン64名）

＜基調講演＞

- 「第五次循環型社会形成推進基本計画 ～循環経済を国家戦略に～」

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室 室長 近藤 亮太 氏

＜特別講演＞

- 「福島県のごみをどう減らすか～現状と課題～」

福島大学経済経営学類 教授 沼田 大輔 氏

＜事例発表＞

- (1) 「神奈川県座間市のリユース・リサイクルの取組」

座間市くらし安全部リユース推進課 係長 中嶋 康仁 氏

- (2) 「(株) タケエイにおける相馬サーキュラーパーク実現に向けた広域連携について」

株式会社タケエイ 常務執行役員、サーキュラーエコノミー推進本部長兼サーキュラーエコノミー支店長 三本 鋭植 氏

＜取組結果発表＞

「福島県ごみ減量市町村連携推進会議における検討結果について」

福島県生活環境部一般廃棄物課 主査 高橋 智子 氏

2. 連携・協働事業

(1) 3R推進団体連絡会との共催による「容器包装交流セミナー」

容器包装の3R・資源循環をテーマに、市民、自治体、事業者などのステークホルダーが一堂に会し、それぞれの取組事例報告や意見交換を通して、相互の信頼を深め、連携・協働を進める容器包装の3R・資源循環ワークショップを全国で開催している。

本ワークショップは、容器包装の3R・資源循環に関する最新情報を共有し、改善・向上すべき課題などについて意見交換する場としている。

全てのセミナー終了後に「容器包装セミナー報告書2024」を作成し、全国の自治体に配布する（予定）。

① 第28回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 高松）

開催日時：令和6年7月2日（火）13:00～16:45

開催会場：サンポートホール高松5階54会議室（51会議室を一部併用）

開催主体：3R推進団体連絡会、3R・資源循環推進フォーラム

参加者： 56名

【事例報告】

- 「高松市のごみ処理の現状と資源循環の取組について」

高松市環境局ゼロカーボンシティ推進課長 山本 和豊 氏

- 「私たちにできること「3R」チャレンジ！」

NPO グリーンコンシューマー高松 代表 勝浦 敬子 氏

- 「容器包装 3 R 推進のための自主行動計画 2025 ～2022 年度実績フォローアップ報告～」
3 R 推進団体連絡会 幹事長 久保 直紀 氏

【意見交換会】

4 グループに 15 人程度が分かれて意見交換・まとめの報告

②第 29 回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 岐阜）

開催日時：令和 6 年 11 月 21 日（木） 13:30～16:45

開催会場：岐阜市民会館 会議室 80（多目的ルーム A を一部併用）

開催主体：3 R 推進団体連絡会、3 R・資源循環推進フォーラム

参加者： 47 名

【事例報告】

- 「岐阜市のごみ減量・資源化」

岐阜市資源環境部資源循環課長 野々村 聖子 氏

- 「身近に取り組める環境問題～行政・企業・NPO・住民の協働～」

NPO 法人 いびがわみずみずエコステーション 理事・事務局長 岩間 誠 氏

- 「容器包装 3 R 推進のための自主行動計画 2025 ～2022 年度実績
フォローアップ報告～」

3 R 推進団体連絡会 幹事長 久保 直紀 氏

【意見交換会】

3 グループに 15 人程度が分かれて意見交換・まとめの報告

③第 30 回容器包装交流セミナー（市民・自治体と事業者の意見交換 in 前橋）

開催日時：令和 7 年 2 月 19 日（水）12:45～16:15

開催拠点：ぐんま男女共同参画センター 4 階大研修室（小会議室を一部併用）

開催主体：3 R 推進団体連絡会、3 R・資源循環推進フォーラム

参加者： 43 名

【事例報告】

- 「前橋市のごみ処理の現状と資源循環への取組」

前橋市環境部ごみ政策課長 大山 幸成 氏

- 「環境アドバイザーごみ部会の活動」

群馬県環境アドバイザー連絡協議会 ごみ部会 部会長 奈賀 由香子 氏

- 「容器包装 3 R 推進のための自主行動計画 2025 ～2023 年度実績フォローアップ報告～」

3 R 推進団体連絡会 幹事長 久保 直紀 氏

【意見交換会】

3 グループに 15 人程度が分かれて意見交換・まとめの報告

(2) 一般社団法人持続可能環境センターとの連携

同センターは、現在及び将来世代が豊かな環境の恵沢を享受するとともに、人類の存続の基盤である環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を体系化及び共有し、活動の輪を広げるための教育・人材育成プログラムを構築・維持することを目的に活動しており、検定試験などの活動をフォーラム事務局職員が運営の協力をしている。

①第 17 回 3 R・気候変動検定試験講習開催 運営業務（関東地区：東京会場）

開催日時：令和 6 年 10 月 12 日（土）

3 R コース 9:30～12:30

気候変動コース 13:30～16:30

開催場所：(公財) 廃棄物・3R研究財団 8階大会議室

開催主体：3R・気候変動検定 検定事務センター

受講者： 9名 (3R:5名、気候変動:4名)

②第17回 3R・気候変動検定試験開催 運営業務 (関東地区:東京会場)

開催日時：令和6年11月17日(日)

開催会場：有明セントラルタワー ホール&カンファレンス

開催主体：3R・気候変動 検定 検定事務センター

受験者： 106名 (3R:53名、気候変動:53名)

(3) リデュース・リユース・リサイクル推進協議会との連携

ア 「3R・循環経済先進事例研究発表会」

脱炭素型資源循環システムの構築、地域に密着した資源循環、産官学や動静脈連携等に関する先進的な取組を行っている企業や自治体などの事例を積極的に発信していただき、関係者の連携や相互交流を促進することにより、連携の拡大や、横への展開を進め、循環型社会の一層の拡大浸透を図るため、本発表会を開催した。

開催日時：令和6年12月23日(月) 14:00～17:00

開催会場：A P東京八重洲 10階 ROOM W (オンラインを合わせたハイブリット開催)

開催主体：3R・資源循環推進フォーラム、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

参加者： 131名 (会場21名、オンライン110名)

【基調講演】

○「循環経済推進に向けた各主体への期待 ～共創の時代を目指して～」

東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授/慶應義塾大学名誉教授/中部大学名誉教授

(3R・資源循環推進フォーラム会長、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長) 細田 衛士 氏

【発表事例】

①「松本市脱炭素プロジェクト「ワンウェイプラスチック削減ミッション」の取組み」

松本市役所環境エネルギー部長 羽田野 雅司氏

②「大阪ブルーオーシャンビジョン達成に向けたアプリ開発及び試用事例」

総合地球環境学研究所、京都超SDGsコンソーシアム 河村 翔氏

③「ユニリーバ SDGs プラットフォーム「UMILE (ユーマイル) によるサーキュラーエコノミーモデルの確立」

ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 繁田 知延 氏

④「オフィス家具のリユースおよび鉄、樹脂の水平リサイクル」

五十鈴ビジネスサポート株式会社 丹沢 慎太郎 氏

サイクラーズ株式会社 山田 晃一 氏

トライシクル株式会社 小林 聡資 氏

⑤「バイオマス資源の活用による脱炭素化と地域経済活性化」

一般社団法人 日本有機資源協会専務理事 柚山 義人 氏

⑥「アルミニウム産業におけるリサイクルの課題への取組み」

一般社団法人 日本アルミニウム協会 鈴木 覚 氏

イ 循環・3Rリレーセミナー

「資源循環を巡る国内外の最新情勢について」をサブテーマとして、会場とWEBによるハイブリットによる開催とした。

セミナーでは、東海大学副学長細田衛士氏の基調講演と、環境省、農林水産省、経済産業

省の3省庁による話題提供、東北大学名誉教授・ISO/TC323 国内委員会委員長 中村 崇 氏によるご講演が行われ、質疑応答と併せてより高度な循環型社会を目指すヒントを提供した。

開催日時：令和7年2月14日（金）13:30～16:30

開催会場：A P新橋 ルーム I

（会場およびWEBによるハイブリット開催）

開催主体：3R・資源循環推進フォーラム、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

参加者：74名（会場参加19名 オンライン参加55名）

【基調講演】

- 「サーキュラーエコノミー実現に向けた各主体の役割」

東海大学副学長・政治経済学部経済学科教授/慶應義塾大学名誉教授/中部大学名誉教授

（3R・資源循環推進フォーラム会長、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長） 細田 衛士 氏

【話題提供】

- 「第五次循環型社会形成推進基本計画 ～循環経済を国家戦略に～」

環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室長

近藤 亮太 氏

- 「食のサーキュラーエコノミー」

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室長 鈴木 学 氏

- 「成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について」

経済産業省 GX グループ資源循環経済課長

田中 将吾 氏

【トピックス】

- 「資源循環を巡る最新の国際情勢と国内の対応について」

東北大学名誉教授・ISO/TC323 国内委員会委員長

中村 崇 氏

(4) 廃棄物・3R研究財団&3R・資源循環推進フォーラム年次報告会

令和5年度の廃棄物・3R研究財団及び3R・資源循環推進フォーラム主催の年次報告会にて、3R・資源循環推進フォーラムの活動報告をした。

開催日時：令和6年10月30日（水） 13:00～16:10

（オンラインをあわせたハイブリット開催）

開催会場：KFCビル Room101～103 （オンラインをあわせたハイブリット開催）

開催主体：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R・資源循環推進フォーラム

参加者：85名（会場参加44名 オンライン参加41名）

(5) スチール缶リサイクル協会との連携

スチール缶リサイクル協会が1973年から行っている「散乱防止・美化キャンペーン」に参加し、清掃活動及び啓発活動を2回実施した。

①第514回散乱防止・美化キャンペーン

令和6年第1回目の「散乱防止・美化キャンペーン」として、敦賀市が主催（スチール缶リサイクル協会が協力）するクリーンアップふくい大作戦「気比の松原クリーンアップ」に参加し清掃活動を行った。その後、敦賀駅西広場公園において、啓発活動を行った。

開催日時：令和6年6月2日（日）

開催場所：敦賀市松原公園、敦賀駅西広場公園

②第515回散乱防止・美化キャンペーン

出雲市のポイ捨て禁止推進協議会が主催（スチール缶リサイクル協会が協力）した「ポイ捨て禁止キャンペーン」大会前一斉清掃イベント（@出雲駅伝コース）に参加し、出雲市で10月

14日（月）に開催される「出雲駅伝」のマラソンコースとなる国道周辺の清掃を行った。終了後は夢フェスタ会場周辺（JR出雲市駅他）などで啓発活動を行った。

開催日時：令和6年10月12日（土）

開催場所：「ポイ捨て禁止キャンペーン」@出雲駅伝コース（出雲市役所など）、
夢フェスタ会場周辺（JR出雲市駅他）

(6) （公財）日本環境協会 こどもエコクラブ全国事務局との連携

次代を担う子どもたちのコミュニケーションの能力、課題発見、解決能力、多様性を受容できる力、新しい価値を生み出す力など「未来を創る力」を育む活動を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

令和6年度は、3R促進ポスターコンクール募集の掲載協力依頼などを行った。

(7) （一社）産業環境管理協会（資源リサイクル促進センター）との連携

夏休み期間中に、小中学生とその保護者を対象に、3RやSDGsについての講和と、廃棄される予定だった花をガーラントにアップサイクルにするチャレンジを行った。

セミナー名：SDGs チャレンジ 「ロスフラワー®をアップサイクルしよう」

開催日時：令和6年7月13日（土）

午前の部 11:00～12:00、午後の部 14:30～15:30

開催会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース
（渋谷区神宮前5丁目53-70）

3. 実務講座・相談事業

(1) プラスチック資源循環研修会

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に関する情報の提供や意見交換を通して、市町村、市民、事業者など関係各主体の取組みを推進するために、最新情報を共有するとともに、プラスチック資源循環の円滑な運用に向けた相互理解の深化と連携・交流の新たな展開に役立てることを目的に、環境省及び経済産業省の協力を得て開催した。

□開催主体：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、PETボトルリサイクル推進協議会、3R・資源循環推進フォーラム、（公財）廃棄物・3R研究財団

①令和6年度 プラスチック資源循環研修会 高松

開催日時：令和6年7月3日（水）13:00～16:40

開催会場：サンポートホール高松6階 62会議室
（オンラインをあわせたハイブリッド方式）

参加者：46名（会場21名、オンライン25名）

《講話》

○「脱炭素と循環経済の動向 ～カーボンニュートラル＋サーキュラーエコノミー～」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原成元氏

《講義》

○「成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策」

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 総括課長補佐 吉川 泰弘氏

○「プラスチック資源循環政策の動向」

環境省環境再生・資源循環局総務課容器包装・プラスチック資源循環室 室長 井上 雄祐氏

○「PETボトル資源循環の動向」

PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松 郁夫氏

○「プラスチックの循環利用」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 理事 会長補佐 久保 直紀 氏

②令和6年度 プラスチック資源循環研修会 岐阜

開催日時：令和6年11月22日（金） 13：00～16：40

開催会場：岐阜市民会館 会議室80（オンラインをあわせたハイブリッド方式）

参加者： 62名（会場22名、オンライン40名）

《講 話》

○「脱炭素と循環経済の動向 カーボンニュートラル＋サーキュラーエコノミー」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原 成元 氏

《講 義》

○「プラスチックに係る資源循環の取組をはじめとした資源循環経済政策について」

経済産業省イノベーション・環境局GXグループ資源循環経済課 課長補佐 吉清 裕一 氏

○「プラスチック資源循環の推進」

環境省環境再生・資源循環局総務課容器包装・プラスチック資源循環室 主査 岡林 正行 氏

○「PETボトル資源循環の動向」

PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松 郁夫 氏

○「プラスチックの循環利用」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 理事 会長補佐 久保 直紀 氏

③令和6年度 プラスチック資源循環研修会 前橋

開催日時：令和7年2月20日（木） 12：45～16：30

開催拠点：ぐんま男女共同参画センター 4階大研修室

（オンラインをあわせたハイブリッド方式）

参加者： 39名（会場7名、オンライン32名）

《講 話》

○「脱炭素と循環経済の動向 カーボンニュートラル＋サーキュラーエコノミー」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長 梶原 成元 氏

《講 義》

○「プラスチックに係る資源循環の取組をはじめとした資源循環経済政策について」

経済産業省イノベーション・環境局GXグループ資源循環経済課

課長補佐 吉清 裕一 氏

○「プラスチック資源循環の推進」

環境省環境再生・資源循環局総務課容器包装・プラスチック資源循環室 主査 濱田 倫 氏

○「PETボトル資源循環の動向」

PETボトルリサイクル推進協議会 専務理事 小松 郁夫 氏

○「プラスチックの循環利用」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 理事 会長補佐 久保 直紀 氏

(2) 講師派遣

①東京都環境公社（第1回サーキュラーエコノミーサロン）

公益財団法人東京都環境公社が主催するサーキュラーエコノミーに資する新ビジネス創出のための学び、ネットワーキングの場づくりのため、サーキュラーエコノミーサロンを開催しており、講演依頼があった。

テーマ：「3R・資源循環推進フォーラムの活動について」

開催日時：令和6年7月10日（水）15:00～17:00

会 場：コモレ四ツ谷 ROOM F

聴講者：自治体職員 51 名

講演者：3 R・資源循環推進フォーラム 専任理事 宇仁菅 伸介

4. 広報普及事業

(1) ホームページやメルマガを通じた普及啓発活動

①ホームページの活用

企画・運営委員会からの会長あての答申（令和 6 年 1 月 18 日）に基づき、ウェブサイトなどを通じた、情報発信の充実に努めることとし、令和 6 年度から、ホームページ上に開催した研修資料や、動画を配信することとした（登壇者にご了解をいただいたものから実施済み）。

また、バナーの更新をこまめに実施するほか、ホームページ上での参加者を募集するイベントなど告知をわかりやすい表現にするなどの工夫を行った。

②3 R・廃棄物 NEWS 配信（メルマガ）

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月 2 回配信。

（配信登録者約 6,500 件（令和 7 年 3 月時点））

配信後、イベントの申込数が増加傾向となるため積極的に活用した。

③パンフレットの作成

3 R・資源循環推進フォーラムへの移行に伴い、フォーラムの活動を説明したパンフレットを新たに作成し、3 R 推進全国大会、3 R 推進地方セミナー、容器包装交流セミナーなどの会場で配布した。

④3 R 推進月間用ポスターを通じた 3 R 啓発

環境省と実施している令和 6 年度の 3 R 促進ポスターコンクールの入賞作品を使った 3 R 推進月間用ポスターを作成し、自由に利用できるよう WEB に掲載した。

(2) 会員向けサービス

①事務局通信の配信

事務局通信を年 4 回配信し、事業の企画や業務執行の状況等会員に随時報告した。

3 R・資源循環推進フォーラムの情報のほか、3 R・循環経済に関する取組や書籍の紹介や環境問題に取り組む企業の取組なども掲載するように内容の充実に努めた。また、令和 7 年 1 月からは、会員団体からの寄稿を掲載することとし、会員との連携を深める一つのツールとした。

②動画配信

当フォーラムの理事会・総会での会長の基調講演などを会員向けサイトから YouTube 動画で閲覧可能とした。

また、令和 6 年度から、環境省地方セミナーや容器包装交流セミナーなどでは、セミナー終了後、了解が得られた講演資料についてはホームページ上に公開するとともに動画を掲載した。

(3) 3 R 促進ポスターコンクール展示会を通じた 3 R 推進普及活動

若年層への 3 R 推進啓発普及に資するため、令和 5 年度ポスターコンクールの最優秀作品全 4 点の展示を以下のとおり行った。

開催日時：令和 6 年 7 月 13 日（土）に開催した「SDGs チャレンジ ロスフラワー®をアップサイクルしよう」の企画に合わせ展示（7 月 2 日（火）～8 月 30 日（金））

開催会場：地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

(4) 後援、協賛、協力等

①第 18 回「小・中学校における環境教育推進支援事業」

- ・後援申請団体：スチール缶リサイクル協会
 - ・目的：国民の環境意識向上に資するため、優れた実践的環境教育をおこなう小学校及び中学校を支援することで社会に貢献する。
 - ・支援・表彰の対象：「新規活動部門用」「継続活動部門用」「再応募継続活動部門用」の 3 種類／小・中学校合わせて 60 校程度（支援校 30 校程度、優秀校 30 校程度）
 - ・募集期間：令和 6 年 6 月 1 日～10 月 31 日
- ※審査委員会委員として宇仁菅専任理事が就任した。

②令和 6 年度建設副産物リサイクル広報用ポスター

- ・後援申請団体：建設副産物リサイクル広報推進会議
- ・目的：建設副産物のリサイクル推進の必要性及びリサイクルへの取組の一般市民への PR 並びに工事関係者への意識高揚
- ・ポスター掲出期間：令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日
- ・ポスター掲出場所：リデュース・リユース・リサイクル推進月間である 10 月を中心に公共交通機関の駅舎、公共機関、建設現場など

③2024 建設リサイクル技術発表会・技術展示会

- ・後援申請団体：建設副産物リサイクル広報推進会議
- ・目的：循環経済の形成に向け、建設業団体及び関係機関が一体となって建設副産物のリサイクル推進の取組について、産官学及び一般市民に対して普及啓発する
- ・開催日時：令和 6 年 10 月 30 日（水）（技術発表会）／10 月 30 日（水）・31 日（木）（技術展示会）
- ・開催会場：広島市南区民文化センター スタジオ（技術発表会）
広島産業会館東展示館（技術展示会）

④第 20 回産業廃棄物と環境を考える全国大会

- ・協賛申請団体：公益社団法人全国産業資源循環連合会
- ・目的：行政、排出事業者等の関係者に産業廃棄物処理業に対する理解を深めていただくなど、産業廃棄物の適正処理や資源循環の取組を促進
- ・開催日時：令和 6 年 11 月 15 日（金）
- ・開催会場：岐阜グランドホテル ロイヤルシアター

⑤第 19 回容器包装 3 R 推進フォーラム

- ・後援申請団体：3 R 推進団体連絡会
- ・事業内容：国の容器包装施策の動向説明、学識経験者からの基調講演、事業者・自治体からの事例報告及びパネルディスカッション
- ・開催日時：令和 7 年 1 月 28 日（火）
- ・開催会場：「全労連会館」とオンライン配信

⑥ニュースレター「「R」でつながる」編集協力

- ・協力申請団体：一般社団法人 持続可能環境センター
- ・事業内容：3 R・低炭素検定合格者へむけた毎月配信の情報レター
（5 月号へ寄稿 トップメッセージ 寄稿者 専任理事 宇仁菅伸介）
＜3 R 活動推進フォーラムから 3 R・資源循環推進フォーラムへ＞

(5) Rマーク表示の啓発普及

3R・資源循環推進フォーラムでは、前身の「ごみ減量化推進国民会議」が平成7年6月に定めた再生紙普及のためのRマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの表示方法等と併せて広報に努めた。

①ホームページでの普及啓発

Rマークのロゴをダウンロードできるようにするとともに、使用にあたっての留意事項等を掲載した。

②問い合わせへの対応

Rマークについて、掲載方法や掲載物に関する電話などでの問い合わせ、教材への掲載方法についての問い合わせなどに対応した。

《Rマーク表示例》

平成20年1月に環境省から公表された「環境表示ガイドライン」では、消費者を混乱させないため、Rマークの近辺やウェブサイトなどに、下記表示例のように利用方法について説明文を加えて表示することが望ましいとされている。



この製品は、古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。このマークは、「3R・資源循環推進フォーラム」が定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

(別表)

3 R・資源循環推進フォーラム事業（令和6年度）

月	理事会・総会、企画運営委員会の開催、 セミナー開催、広報等	表彰関係事務、連携事業への協力、後援等
4月	☐ 「3 R活動推進フォーラム」から「3 R・ 資源循環推進フォーラム」に移行 ☐ 事務局通信 No78 発行	☐ 令和6年度循環型社会形成推進功労者環境 大臣表表彰推薦依頼 ☐ 連携・協働セミナー、実務講座等の開催につ いての意向調査
5月	☐ 3 R・資源循環推進フォーラム活動内容説 明ポスターを作成	☐ 令和6年度全国都市清掃会議定時総会出席 (展示コーナーへの出展) ☐ 令和6年度3 R促進ポスターコンクールの 募集開始 ☐ ニュースレター「Rでつながる」5月号へ寄 稿
6月	☐ 3 R・資源循環推進フォーラム第19回理 事会・総会開催 ☐ 同 細田会長講演動画配信開始 ☐ 事務局通信 No79 発行	☐ 第514回散乱防止・美化キャンペーン(福井 県敦賀市)参加 ☐ スチール缶リサイクル協会主催の第18回 「小・中学校における環境教育推進支援事 業」への後援 ☐ 持続可能環境センター(3 R・気候変動検定) 総会・運営委員会参加(WEB)
7月	☐ 第28回 容器包装の3 Rに関する市民・自 治体・事業者との意見交換会 ～容器包装 交流セミナー in 高松～ ☐ 令和6年度 プラスチック資源循環研修会 (高松) ☐ 夏休み SDGs チャレンジ「ロスフラワー®を アップサイクルしよう」 ☐ 3 R・資源循環推進フォーラム第1回企 画・運営委員会(新フォーラムのロゴマー クの決定など)	☐ 3 R促進ポスターコンクール展示(地球環境 パートナーシッププラザ)(～8月)
8月	☐ 第18回3 R推進全国大会第1回実行委員 会 ☐ 事務局通信 No80 発行	
9月		☐ 3 R促進ポスターコンクール1次審査会 ☐ 3 R促進ポスターコンクール2次審査会 ☐ 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰選 考委員会 ☐ 持続可能環境センター運営委員会参加(WEB)

10 月	☐ 第 18 回 3 R 推進全国大会第 2 回実行委員会 ☐ 第 18 回 3 R 推進全国大会（埼玉県） 「埼玉から未来へ！ ～サーキュラーエコノミーで育む地域の力～」 ☐ 廃棄物・3 R 研究財団& 3 R・資源循環推進フォーラム年次報告会で報告	☐ 令和 6 年度建設副産物リサイクル広報用ポスター 後援 ☐ 建設副産物リサイクル広報推進会議主催による「2024 建設リサイクル技術発表会・技術展示会」への後援 ☐ 3 R・気候変動検定試験対策講習会の運営協力（会場貸出・補助）
11 月	☐ 第 29 回 容器包装交流セミナー ～容器包装の 3 R・資源循環ワークショップ～ 市民・自治体・事業者の意見交換 in 岐阜 ☐ 令和 6 年度 プラスチック資源循環研修会 岐阜 【プラスチック資源循環法・制度の概要と市町村・市民・事業者の対応】 ☐ 第 18 回 3 R 推進全国大会第 3 回実行委員会	☐ 第 17 回 3 R・気候変動検定試験の運営協力（監督他） ☐ （公社）全国産業資源循環連合会ほか主催による第 20 回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」への協賛 ☐ 第 515 回散乱防止・美化キャンペーン（出雲市）参加
12 月	☐ 令和 6 年度環境省主催 3 R 推進地方セミナー（兵庫県） 「兵庫県における水平リサイクルの最新の取組」 ☐ 3 R・循環経済先進事例研究発表会	
1 月	☐ 令和 6 年度環境省主催 3 R 推進地方セミナー（福島県） 「福島県における 3 R・資源循環に向けた最近の動向について」 ☐ 事務局通信 No81 発行	☐ 3 R 推進団体連絡会主催「第 18 回容器包装 3 R 推進フォーラム」への後援
2 月	☐ 【会員向け】循環・3 R リレーセミナー 「資源循環を巡る国内外の最新情勢について」 ☐ 第 30 回 容器包装交流セミナー ～容器包装の 3 R・資源循環ワークショップ～ 市民・自治体・事業者の意見交換 in 前橋 ☐ 令和 6 年度 プラスチック資源循環研修会 前橋 【プラスチック資源循環法・制度の概要と市町村・市民・事業者の対応】	
3 月	☐ 事務局通信 No82 発行 ☐ 3 R・資源循環推進フォーラム第 2 回企画・運営委員会	

（備考）

- ・以上の他、メールマガジン「廃棄物・3 R NEWS」を月 2 回配信、ニュースレター「「R」でつながる」を月 1 回編集協力